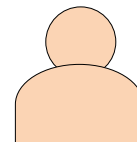


広島経済大学教員情報

基本情報

所属	経済学部 教養教育部	氏名	宮岡 弥生 Miyaoka Yayoi
職名	教授	E-Mail	y.miya8411@hue.ac.jp
		ホームページ	

No Picture



■ 学歴・取得学位

1989年3月	岡山大学文学部卒業 学士（文学）
1992年3月	岡山大学大学院文学研究科修了 修士（文学）
1998年3月	広島大学大学院国際協力研究科博士課程前期修了 修士（学術）
2001年3月	広島大学大学院国際協力研究科博士課程後期修了 博士（学術）

■ 主な職歴

2002年4月	広島経済大学 専任講師（2005年3月まで）
2005年4月	広島経済大学 助教授（2007年3月まで）
2007年4月	（学校教育法の一部改正に伴い）助教授から准教授へ職名変更（2011年3月まで）
2011年4月	広島経済大学 教授（現在に至る）

教育活動

■ 主な担当授業科目

- 学部：日本語Ⅰ、交換留学日本語Ⅰ、日本語と日本文化Ⅰ、演習Ⅰ、入門ゼミⅠ
- 大学院：

■ 教育上の特記事項

- 教科書・教材：文章表現基礎演習（共同） 2001年9月
- 教育活動：「日本語と日本文化Ⅰ」の授業で、茶道、華道、書道、見学旅行などを取り入れた体験型学習を実施。
- 免許・資格：中学校教諭専修免許状（国語）、高等学校教諭専修免許状（国語）

研究活動

■ 研究分野

研究分野	日本語教育、言語学
主な研究テーマ	日本語学習者に対する敬語教育
キーワード	日本語教育、敬語

■ 主な著書・論文等

論文	外国人が用いた待遇表現に対する中国地方在住の日本人の評価（共著）、『日本語教育』（日本語教育学会）、103号、pp.40-48、1999年
論文	上級レベルの中国語系日本語学習者と韓国語系日本語学習者の敬語習得の比較、『読書科学』（日本読書学会）、Vol.46、No.2(通巻 第180号)、pp.63-71、2002年
論文	A Corpus Investigation of the Right-hand Head Rule Applied to Japanese Affixes（共著）、『Glottometrics』（RAM Verlag, Lüdenscheid, Germany）、10、pp.45-54、2005
論文	中国語母語話者における日本語習得上の困難点－効果的な敬語教育に関する考察を中心に（単著）、『広島経済大学研究論集』、第27巻、第4号、pp.15-23、2005年
論文	韓国語を母語とする日本語学習者による漢字の書き取りに関する研究－学習者の語彙力と漢字が含まれる単語の使用頻度の影響－（共著）、『日本語科学』（国立国語研究所）、第24号、pp.119-129、2009年
論文	日本語語彙テストの開発と信頼性－中国語を母語とする日本語学習者のデータによるテスト評価－（共著）、『広島経済大学研究論集』、第34巻、第1号、pp.1-18、2011年

■ 大学就任以前の主な業務上の実績

--	--

■ 主な所属学会

日本語教育学会、日本言語学会、日本心理学会、日本語学会、日本読書学会、日本認知科学会、日本語用論学会、言語科学会、日本神経科学学会

■ 受賞等

--	--

■ 研究助成金による研究

- 科学研究費補助金（基盤研究(C)）（2010年度～2012年度）
研究代表者、研究課題：脳波と反応時間の測定による中国語および韓国語母語話者の敬語理解研究
- 科学研究費補助金（基盤研究(C)）（2007年度～2009年度）
研究代表者、研究課題：中国語または韓国語を母語とする日本語学習者の敬語能力に関する実証的研究
- 科学研究費補助金（若手研究(B)）（2003年度～2004年度）
研究代表者、研究課題：韓国語系日本語学習者における尊敬語と謙讓語の知識と運用の関係

社会活動

○外部委員

科学研究費委員会専門委員（2009年12月～2010年11月）

大学運営活動

2011年4月～

入試対策委員長